



令和5年 2月24日

名古屋港記者クラブ会員 各位



『名古屋港管理組合 i-Construction』の取組みについて

～「i-Construction を推進して、建設現場の生産性を向上させよう！」～

建設業界では、高齢化等により技能労働者が大量に離職することが見込まれる中、将来にわたり社会資本の品質確保と適正な機能維持を図るためには、建設現場の担い手確保や労働力不足を上回る生産性の向上が避けられない課題となっています。

そのため、国土交通省では、建設現場に携わる人の賃金の水準の向上や休日の拡大等による働き方改革とともに、建設現場における一人一人の生産性を向上させることを目指し、i-Construction の取組みを推進しているところです。

本組合においても i-Construction については、これまで個別の取組みを行ってきたところですが、令和5年度より『名古屋港管理組合 i-Construction』と位置付け、発注工事の施工管理の効率化を図る取組みをより一層進めていきます。

詳細につきましては別添資料及び名古屋港のホームページをご覧ください。
(https://www.port-of-nagoya.jp/business/nyusatsu_keiyaku_koji/1001015.html)

【お問合せ先】
名古屋港管理組合建設部技術管理課
担当 堀田
TEL 052-654-7941

『名古屋港管理組合 i-Construction』

1. 背景

我が国において少子高齢化による生産年齢人口が減少する中、建設業では、高齢化等により技能労働者が大量に離職することが見込まれる中、将来にわたり社会資本の品質確保と適正な機能維持を図るためには、建設現場の担い手確保や労働力不足を上回る生産性の向上が避けられない課題となっている。

国土交通省では、建設現場に携わる人の賃金の水準の向上や休日の拡大等による働き方改革とともに、建設現場における一人一人の生産性を向上させることを目指し、i-Construction の取組みを推進している。

2. 方針

本組合においては、受発注者双方の建設現場における働き方改革や生産性の向上を目指し、発注工事の施工管理の効率化を図る取組みについて『名古屋港管理組合 i-Construction』と位置付け取組施策を進めていく。

3. 取組施策

① あいち建設情報共有システム（ASP）の導入

システムを用いて工事書類等の処理を行うことによる受発注者の作業効率化を図る

② 建設現場における遠隔臨場の導入

施工状況の確認作業に映像及び音声の配信・記録を用いることによる受発注者の作業効率化を図る

③ ICT 活用工事の導入

工事施工の各段階で ICT を活用し、工事の施工効率・精度の向上や人員削減による労働環境改善、安全性の向上を図る

4. 効果

本組合の発注工事の業務の効率化と建設現場における生産性や労働環境が向上する。

5. 実施について

令和 5 年度より試行工事（発注者指定）を実施し、検証を行いながら取組みを進める。

- ・あいち建設情報共有システム対象工事 5 件予定
- ・遠隔臨場対象工事 3 件予定
- ・ICT 活用工事 3 件予定

ICT 活用工事（土工）、ICT 活用工事（舗装工（修繕工））

※ 試行工事名等の詳細については、令和 5 年度発注予定工事一覧にて HP 掲載予定

※ 受注者より希望があった場合は対象工事とすることも可能